号外

SDGs未来都市かわさき

発行所 自由民主党本部 郵便番号102-8910 東京都千代田区永田町1-11-23 電話 東京(03)3581-6211(代表)

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主 http://www.jimin.jp/

令和4年(2022年) 1月 日 <1>

川崎市議団NEWS

●発行責任者／自民党川崎市議会議員団 団長 青木功雄

令和3年 第4回川崎市議会定例会 12月議会 ご報告

上:橋本 勝 議長
下:上原 正裕 議員

11月26日から12月21日までの期間で、川崎市議会第４回定例会が開催されました。今議会では、追加議案含めて議案31件、諮問１件、報告１本が上程されました。議案においては、議案第161号犯罪被害者等支援条例の制定について、議案第165号市民ミュージアム条例の一部改正及び、新たな博物館、美術館に関する考え方等、議案第187号危機管理本部設置に関する事務分掌条例の一部改正、子育て世代臨時給付金事業に関する補正予算（10万円給付）など、社会的注目も大きい議案もありました。市政一般にあたっては、市長公約実現に向けた取り組みに始まり、新型コロナ感染症第5波の教訓を踏まえた第6波への備え、ワクチン３回目追加接種に向けた取り組み、川崎市南部への新設を県と調整している特別支援学校に関する状況など、多岐に渡り代表質問致しました。

「代表質問者:上原正裕議員(多摩区選出)」

電力新会社 and 水素社会実現

川崎市水素社会の実現に向けての質問における答弁では、市長から、水素は2050年の脱炭素社会の実現に向けたキーテクノロジーである認識を示した上で、『川崎臨海部は、首都圏の市民生活や産業活動を支えており、このエリアが、水素を軸としたクリーンエネルギーの供給拠点へと転換していくことは、我が国にとって大きなインパクトを与えるものと確信している。水素社会の実現に向けては、川崎臨海部がクリーンエネルギーの一大拠点となるよう、全国に先駆けて取り組んでいく。』との姿勢が答弁によって示されました。

また、市長公約の一つでもあった『地域新電力会社の設立』については、本市が持つ廃棄物発電による再生エネルギー電源を基本に、これを最大限活用した地域エネルギー会社の設立を進めていくことが示されました。この地域新電力会社の特徴は、再生可能エネルギー電源を基にした小売電力事業に留まらず、電源開発やエネルギーマネージメントなど幅広くエネルギー事業に取り組むという他には類をみない点となっており、有識者会議の意見も踏まえ、市が過半出資を行い、主体的にリーダーシップを発揮していく方向性が示されました。

特別支援学校の新設に向けて

市立特別支援学校では、在籍者数がこの10年間で約1.5倍に増加し、施設の狭あい化が深刻であり、早期の対応が求められています。こうした課題について、我が会派はかねてより、特別支援学校の受け入れ枠の拡充に向けた取組を継続的に行政に求め、市長は設置義務者である神奈川県への要請活動を行ってきました。そして、今年３月に県から「かながわ特別支援教育推進指針（素案）」が公表され、川崎南部地域への受け入れ枠の拡大の方向性が示され、さらに、11月末には川崎市内に県立特別支援学校を新設することが新たに示されました。我が会派も市・県の両行政の取組、対応は歓迎するところであり、課題改善への大きな前進と捉えています。

今後についても、特別支援学校新設の早期実現に向け、県との調整を重ねて参りますが、一方で、新設には工事期間を含め相当の期間を要します。その間の既存の私立特別支援学校の狭あい化解消への取組も必要となります。我が会派の代表質問に対し、教育長は「中央支援学校大戸分教室において、今年度、基礎調査に着手し、増築に向けた取組を進めている」、また、中央支援学校高等部分教室については、「今年度、基本計画策定に着手し、一部増改築に向けた取組を進める」と答弁しました。

新型コロナワクチン追加接種スケジュールについて

新型コロナワクチンの追加接種について、12月より主に医療従事者等の方々を対象にした接種券の発送が始まりました。新年１月中旬以降、順次、３回目接種の対象者へ接種券が発送される予定です。予約開始時期や接種会場等は以下のとおりです。

1 個別接種

・令和４年１月 14 日以降に発送する接種券から、協力医療機関一覧を同封
・ファイザー社製ワクチンを中心に接種を実施
・接種実施準備が整った医療機関から、順次予約受付を開始

2 集団接種

・集団接種会場は、各区に１か所、水曜日～日曜日の週５日、午前９時～午後６時で開設（予定）

所在区	会場名
川崎区	川崎市役所第４庁舎
幸区	幸市民館
中原区	中原市民館
高津区	高津市民館

所在区	会場名
宮前区	宮前市民館
多摩区	多摩市民館
麻生区	麻生区集団接種会場（新百合トウェンティワン）

・当面、モデル社製ワクチンを中心に接種を実施（予定）
・**予約受付開始は、令和４年１月 25 日(火)午前８時 30 分～**。予約対象期間は、令和４年２月２日(水)～13 日(日)接種分。 ※以降、毎週火曜日に１週間分の予約受付を行う予定です。

3 予約方法

２回目接種日から８か月以上経過した日時の予約を取ることができます。（例：令和３年６月 10 日に２回目接種を受けた方は、令和４年２月 10 日以降が予約可能期間）。**かかりつけの医療機関がある方は、受診された際などに予約について御相談ください。**医療機関と集団接種会場の予約は、次の方法で受付を行います。

●予約サイト URL:https://v-yoyaku.jp/141305-kawasaki/（24 時間対応）

●新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター
電話：0120-654-478 ファクス：044-953-6339（耳の不自由な方のお問合せ用）
（午前８時 30 分～午後６時、土・日曜、祝日も対応。年末年始（令和３年 12 月 29 日(水)～令和４年１月３日(月)）を除く。）

川崎市犯罪被害者等支援条例制定に関する議案が全会一致で可決！

本市で発生した登戸児童生徒殺傷事件などを起因とし、これまで本市においても犯罪被害者に特化した支援条例の制定が必要と考え、我が会派として求めてきました。本市の犯罪被害者等支援条例は、県の支援条例ではカバーが出来ていない凶悪犯罪、性犯罪等被害者においも支援対象とする幅広い条例となっている事に加え、初期だけではない中長期的な支援等を行う事が役割となっており、今後策定される要綱の中で具体的な支援項目が示されます。

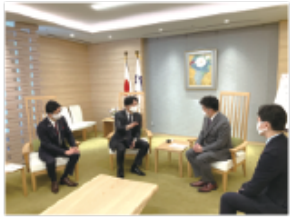
一方で、条例制定の為に組織された庁内連絡会議に教育委員会を入れず、「教育支援」の必要性について、深い庁内議論が行われて来なかった事が議会質問等を通じて判明しました。文教委員会での審査において、条例原案のままでも、今後策定する具体的支援内容に関する要綱で必要に応じて策定可能である事を確認した上で、本議案審査では原案と共に「(児童が犯罪被害者となった場合)当該児童に関わる関係機関との協議を十分に重ね、個々の児童に則した必要な支援施策を検討すること。」の附帯決議を付す事が全会一致で可決されました。本件については、引き続き、注視して参ります。

令和４年度 予算要望

定例会閉会後、市長に対し、令和４年度予算への要望書を提出し、意見交換を行いました。

当要望書は、新型コロナ対策や災害対策をはじめ、我が会派が先陣を切って取り組んでいる特別自治市制度の早期実現に向けた取組の推進などの都市運営、医療・福祉、経済活性化、環境施策、行財政改革と多岐に渡った内容となっています。

要望書を手渡した後、JFE スチール株式会社の扇島高炉の停止後の土地の利活用、幼児・児童への眼科検診の必要性や生産緑地対策、経済安全保障等について、意見を交わし、我が国や本市を取り巻く課題を共有しました。



令和３年度 自民党市議団の構成

麻生区	多摩区			宮前区			高津区			中原区				幸区		川崎区		
山崎なおふみ	橋本勝	各務雅彦	上原正裕	矢沢孝雄	浅野文直	石田やすひろ	大島あきら	青木のりお	さいとう伸志	松原しげふみ	原のりゆき	吉沢直美	すえなが直	野田まさゆき	加藤たかあき	しまざき嘉夫	本間賢次郎	山田瑛理
総務委員	文教委員 市議会議長	文教委員	健康福祉副委員長	文教委員長 市議団副団長	健康福祉委員	文教委員	環境委員	環境委員 市議団団長	総務委員長	まちづくり委員	健康福祉委員 議運委員長	まちづくり副委員長	健康福祉委員	環境委員	まちづくり委員	総務委員	まちづくり委員 市議団副団長	総務委員

2021年12月10日タウンニュース市政報告Vol.37号

市政報告
Vol.37

向丘出張所の今後の活用方針案まとまる

川崎市議会議員　矢沢たかお

鷺沼駅周辺再開発が契機に

本市では鷺沼駅周辺の再開発の機会をとらえ、「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定しました。平成31年3月末に公表された市の基本方針における5つの基本的な考え方の中には、地域バランスを考慮した「向丘出張所の機能の検討」という項目が含まれています。この項目は、議会報告段階で向丘地区から出ていた意見要望を関係局にお伝えしてきた結果、記載された重要な項目です。向丘出張所については、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、本市の関係施策の位置付け・検討状況を踏まえ、「身近な活動の場」や「地域の居場所」としての活用など、地域の皆さまとともに地域ニーズや課題を把握・整理し、機能のあり方について検討することが盛り込まれました。

こうした位置付けを踏まえ、本市は地域で活動されている皆さまへのヒアリングやワークショップ形式の意見交換会開催等を実施し、本年3月には向丘地区連合自治会から『向丘出張所の機能のあり方に関する提言』が市長宛に提出されました。そして、市はこのほど、「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針（案）」を取りまとめました。

方針案では短期・中期・中長期の区分を目安にしながら、可能な限り早期実現に向けた課題解決の検討を進めるとともに、今後予定されている鷺沼駅周辺の再編整備、横浜市高速鉄道3号線の延伸による周辺のまちづくりや、行政手続きのデジタル化・オンライン化の状況変化などと整合を図って取り組むとしています。

市は、庁舎設備の快適化に向けた取り組みを進めつつ、建て替えについては、目標耐用年数である60年以上の活用という市の基本方針に基づき、将来的には、建て替えも含めた効果的・効率的な整備手法を検討するとしています。方針の策定は、向丘出張所が地域の皆さまに一層活用していただける拠点となるよう、今後の機能向上の取組の推進につなげることを目的にしています。ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

矢沢たかお
●川崎市宮前区初山生まれ（36歳）
菅生小、菅生中卒／法政大学第二高等学校卒／法政大学情報科学部卒／商社系ＩＴ企業
2019年4月2期目当選
宮前区初山1-20-12
Tel 044-976-2727
矢沢たかお　検索

基本的な考え方	各機能と取組	短期 令和4(2022)年～令和5(2023)年	中期 令和6(2024)年～令和7(2025)年	長期 令和8(2026)年～
向丘出張所の一層の活用に向けた機能と取組の内容まとめ ①みんなが利用したくなる空間	①地域の居場所 立ち寄りやすく親しみやすい空間づくり	・空間の工夫と什器設置 ・設備の快適化		
	庁舎へのアプローチ改善	・ソフト対応・運用ルール整理 ・庁舎裏手アプローチ整備	バス停からのアプローチの検討拡張調整結果を踏まえた対応	
②活動や交流を促す仕組み	②活動・交流の場 庁舎スペースの有効活用	・実証事業の試行 ・市民を巻き込む仕組み検討	・利用ルール作成 ・区民活動支援コーナーとの機能分担等を整理	
	インターネット利用環境の整備	かわさきWi-Fi導入	共用Wi-Fi導入検討・対応	
	休日・夜間利用	ニーズ検証等	利用ルール作成 ハード対応の要否検討	
	③情報受発信 地域情報の受発信拠点	地域実情に即した情報発信	地域情報を受発信する取組	
	④生涯学習 地域における生涯学習の推進	区役所市民館との連携講座	地域主体との協働・連携	
	⑤図書サービス 図書サービスの提供	図書館との連携・サービス提供		
③地域の暮らしを支える取組	⑥防災 地域防災の強化	広報機能強化等検討		
	⑦相談 地域の身近な相談拠点	地域連携・出張相談試行	・機能実現に向けた取組推進 ・オンライン相談検討	
	⑧行政手続 利便性向上や分かりやすい窓口サービス提供	オンライン化動向を踏まえた窓口サービスの検討	社会環境変化を踏まえた窓口デジタル化とサポート手法の検討、取組の展開	

2022年1月7日タウンニュース市政報告Vol.38号

市政報告
Vol.38

都計道（水沢工区）横浜生田線の状況について質問

川崎市議会議員　矢沢たかお

12月21日に閉会した市議会第4回定例会で一般質問に立ちました。その中から「都市計画道路横浜生田線（水沢工区）」についてご報告いたします。

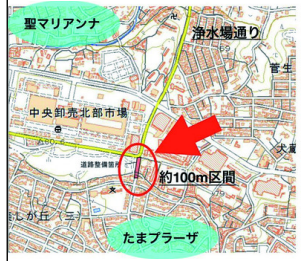
清水台交差点を起点とする都市計画道路横浜生田線は、川崎市域の骨格を形成する重要な幹線道路です。横浜市側に抜ける道路であり、昭和61年から川崎市による用地買収を開始しました。私は川崎市議会にて、1期目当選当初から開通に向けた取組を取り上げ続け、令和元年度には、事業用地すべての用地買収と工事に関する基本設計が完了し、残すは横浜市側との調整のみの状況となっています。そこで、当局に現在の進捗状況と今後の方向性を質問しました。

7年度完成目標へ

建設緑政局長は「平成28年度策定の第2期川崎市道路整備プログラムに基づき、整備推進路線として令和3年度の完成を目指していたが、横浜市との調整が整っていないため、完成目標を令和7年度に変更している」。また、「水沢工区については、本市の幹線道路ネットワークにおいて隣接都市と連絡する重要な路線であり、（中略）本路線を取り巻く周辺環境は大きく変化しているため、交通の分散化や緊急時における道路の冗長性確保などにも寄与する本路線の整備は大変重要である」と答弁。

一方、横浜市側との協議調整については、昨年1月に局長級協議を実施し、両市において当該道路の重要性を確認したが、10月に横浜市としては整備の優先度が低く、当面事業化する予定がないとの回答を受けたことも答弁でわかりました。

厳しい回答ではありますが、本市として令和7年度までの完成を明言した以上、その具体的手法を考えていないわけではありません。課題は多いですが、令和7年度の完成に向け、引き続き横浜市とのより一層の連携を図り、早期の道路開通に向けて取り組んでいく方向性を共有いたしました。



矢沢たかお
●川崎市宮前区初山生まれ（36歳）
菅生小、菅生中卒／法政大学第二高等学校卒／法政大学情報科学部卒／商社系ＩＴ企業
2019年4月2期目当選
宮前区初山1-20-12
Tel 044-976-2727
矢沢たかお　検索